

# 第5講：企業活動と業績数値との関係理解



プログラム(前半)	プログラム(後半)
<p><b>I. 会社の数字を理解する</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. B/S・P/L・C/Fとは何か？</li><li>2. 財務諸表が表すもの(なぜ必要なのか？)</li><li>3. 貸借対照表の本質(プロはこれを真っ先に見る)</li><li>4. 損益計算書の本質(每期リセット)</li><li>5. キャッシュフロー計算書の本質(お金に色をつける？)</li></ol> <p><b>II. 管理会計と損益分岐点分析</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 財務会計と管理会計の違い</li><li>2. 損益分岐点の基本と活用<ol style="list-style-type: none"><li>(1) どんなどきに活用するものなのか？</li><li>(2) 固定費と変動費に分ける</li><li>(3) 損益分岐点売上高とは±0の売上</li><li>(4) どうしたら損益分岐点を下げれるのか？</li><li>(5) あなたが新しい事業部の責任者になったら？</li></ol></li></ol> <div data-bbox="291 1077 1064 1396" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p>「ケーキ屋さんの経営」に関する演習問題 演習1: 1日いくら売れば損益トントンになるのか？ 演習2: パートと採用して人件費が膨らんだ。損益分岐点はどうなるのか？ 演習3: ライバル登場売上激減、いくらコストカットすれば、生き残れるのか？</p></div>	<p style="text-align: right;"><b>* 講師の一言</b></p> <div data-bbox="1142 327 1915 837" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p><b>■ ビジネストレーニングゲーム</b> 疑似会社組織を組成 社長、経理部長、営業部長、社員の構成で、「おもちゃのお金」を使って取引します。 元手と条件は同じ、しかし結果はまったく異なります。 どのチームが一番、売上を上げ、利益を残せたか、またキャッシュを一番増やしたのはどこか。 ゲームでの行動が、現実の行動にも結びつくこと、また意思決定によって、業績が大きく変わることを体感できます。社長役の総括発表もよい体験です。</p><p style="color: red;">※重要フェーズ</p></div> <p><b>III. 経営分析の基礎知識</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 経営分析とは何か？<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 総合力はROA</li><li>(2) 利益で大切なのは？</li><li>(3) 付加価値とは？</li><li>(4) 自己資本比率の算出</li><li>(5) 労働分配率って？</li><li>(6) 成長性の見方</li><li>(7) 総資本を使ってどれだけ商いたの？</li></ol></li></ol> <p><b>V. 私の実行課題</b></p> <div data-bbox="1534 877 1915 1396" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p style="text-align: right;"><b>* 講師の一言</b></p><p>有名企業のB/S・P/L・C/F図表を基に、財務体質と、企業の戦略との関連性を確認。 財務数字に対する理解と興味を深めます。 又、経営指標の内、押さえるべきポイントと判断の仕方を学びます。</p></div>